

教育ビジョン研究センターは、By EVRI, For Everyoneを合言葉に、革新的な教育デザインの提案と社会貢献を使命とした研究拠点です。本拠点は、3つのユニット、6つのクラスターで構成されます。ロゴは、6つのクラスターが相互に作用しつつ1つの研究拠点を形づくり、広島を起点に、地域の、日本の、そして世界の教育を創造していく姿を現します。



EVRI

カンボジアにおける持続可能な社会構築のための社会科カリキュラム・教科書開発支援事業に協力しました(18)



活動日時 2019年7月8日(月) – 7月16日(火)

活動従事者 草原和博, 桑山尚司, 大坂遊 (教育研究推進員), 守谷富士彦 (教育研究推進員)



広島大学インキュベーション研究拠点「教育ビジョン研究センター (EVRI)」は、ひろしま平和貢献ネットワーク協議会が受託したJICA草の根技術協力事業「カンボジアにおける持続可能な社会構築のための社会科カリキュラム・教科書開発支援」に専門家として協力しています。本年度も、カンボジア王国教育省カリキュラム開発局から6名が来日し、東京と広島でカリキュラム・教科書開発マニュアル作成に関わる研修を実施しました。

後半の広島研修では、カリキュラムの開発・普及に関わる地方行政(教育委員会)や研究開発指定校の役割を学んだ上で、マニュアルの編集方針や完成に向けたアクションプラン、そしてカリキュラムや教科書の普及に向けた仕組みを提案しました。

7月9日には、広島大学附属小学校を訪問し、研究的な取り組みを行う学校現場を視察しました。服部太先生(社会科)の授業を観察と協議では、膨大な教材研究をもとに授業が実践されていることを聞いて研修生は驚い

ていました。午後には広島県立教育センターを訪問し、迫有香指導主事・徳本光哉指導主事に新カリキュラムを普及する主体としての教育センターや指導主事の役割についての講義を受けました。また、カリキュラム普及のために必要な教育制度のアイデアを出すワークショップも行いました。

研修期間中はこの他にも、広島大学の川口広美先生や、専門家の草原・大坂から、カリキュラムの開発・普及に関わる様々な情報提供が行われました。これらをふまえて、研修後半の演習では、研修員はマニュアルの編集方針づくりに意欲的に取り組みました。

そして7月15日と16日には、研修のまとめとして、マニュアルのアウトラインとマニュアルの作成・普及に向けたアクションプランをプレゼンテーションしました。

今後は、本邦研修の方針をもとに12月のマニュアル完成を目指します。EVRIは引き続き関係機関と連携しながら、本事業の支援を続けて参ります。



HIROSHIMA UNIVERSITY

教育ビジョン研究センター (EVRI)

739-8524

広島県東広島市鏡山一丁目1-1-1
広島大学大学院教育学研究科 気付

TEL/FAX : 082-424-5265

E-mail : evri-info@hiroshima-u.ac.jp

URL :

http://evri.hiroshima-u.ac.jp/

EVRI HP/Facebook

